



参加された皆さんは「食事もおいしく、催し物も楽しめた。また誘ってもらいたい」と口々に話していました。

小林さんは「今後も『ホッと一息つける雰囲気がいいね』『また次回も来ようね』と言ってもらえるサロンを目指したい。自分もサロンが楽しみになるような企画を計画している。任期の3年間を楽しみながら地域を支えたい」と語っていました。

踊りやマジックショーなど、見ているだけでなく一緒に体を動かしたり、考えたりと参加型の催し物が行われていました。この催し物は、中野市社会福祉協議会で紹介している「ふれあいサロン応援団」の中野マジックサークルと、民生児童委員仲間とで結成した平野ガールズが提供してくれました。

手拍子と笑いが起こり、ほぼ笑ましい雰囲気で小林さんの初めてのふれあいサロンはにぎやかさを見せていました。



地域を見守るパトロール

地域の安全と未来を守りたい

民生児童委員 4年目
(2期目)

稲澤 庸太郎さん
(西条)



パトロールや健康のために行っているウォーキングを中野小学校の下校時間に合わせ、西条区まで児童と一緒に歩く稲澤さん。

入学したての1年生と一緒に交通ルールを確認し、仲良く会話をしながら歩いていました。

小学生との会話の中で、地域の様子が分かることもあるそうです。児童の保護者も「稲澤さんが一緒に下校してくれる日は、安心できる」と信頼を寄せていました。



同じ地域に住むからできる おもてなしの心

民生児童委員 1年目

小林 美子さん

(新野・高遠)



民生児童委員になって初めての「ふれあいサロン」を行った小林さん。お茶と一緒に食べていただくものは、高血圧の人にも配慮して塩分を控えめに作ったそうです。会場に来るまでには登り坂が多いので、車で参加者を送迎する心配りをしていました。

区の福祉協力委員と一緒に、お茶出しや催し物の準備など忙しく働く、そんな忙しい中でも、参加者と会話をして、体調や身近な変化を聞き取っていました。



◀ 菜の花のお浸しやおでん。やわらかく食べやすいものを作っていました。

▼ フラダンスなどを見ながらお茶会。



▲ 児童と保護者と別れた後、担当地域を見て回り、帰路に就きます。

▶ 児童のお迎えに来た保護者とも合流。転ばない歩き方や交通ルールがしっかりできているか見守ります。



稲澤さんは「自分がやりたいからやっている活動」と、このボランティアについて語っていました。

地域を見守り、私たちの安心・安全を支えている民生児童委員——。

私たちも、彼ら彼女らに頼るだけでなく、一緒に地域を守り、支える協力をする——。

そんな思いやりの心を地域に広めていきませんか。

地域で見守り
支えよう安心・安全



児童の下校に付き添うボランティアは、民生児童委員になる前から行っているそうです。地区からも感謝状が贈呈され、学校からも信頼があるからこそ、地域のネットワークづくりができ、民生児童委員の仕事にも生かされているようです。